

決済動向

— 平成7年7月 —

(平成7年9月11日)

1. 日本銀行における決済関連計数

7月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比△1.7%）、金額ベースでは335.5兆円（同+2.5%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は315.3兆円（前年比+2.3%）、民間の集中決済制度に係る資金決済は14.0兆円（同+9.4%）となった。

7月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで5.7万件（前年比+43.1%）、金額ベースで156.5兆円（同+46.9%）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.2万件（前年比+8.5%）、金額ベースで212.7兆円（同+8.0%）となった。

7月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで53.4万件（前年比+10.4%）、金額ベースで4.3兆円（同+12.8%）となった。

7月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高7.9兆円（前年比△2.0%）、支払高7.3兆円（同△4.2%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、7月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは47.6万枚（前年比+5.6%）、金額ベースでは5.3兆円（同△37.5%）となった。

7月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは375.4万件（前年比+10.9%）、金額ベースでは8.0兆円（同+18.0%）となった。

7月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは3.5万件（前年比+20.6%）、金額ベースでは29.7兆円（同+15.3%）となった。

3. その他

7月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は12.2万契約（前年比△9.8%）、月末の建玉数量は136.9万契約（同△1.4%）となった。

(信用機構局)